

作物の種類		マルメロ	485	1次必須項目											
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	枝条の色	10枝	観察		緑	灰	褐	赤褐							休眠枝の1年枝で生育中庸なもの中央部
2	葉身の大きさ	15葉	測定	平方cm (小数第1位を四捨五入)										8月に生育中庸な発育枝5本について第4~6位葉, 計15枚の葉身長(L)及び葉幅長(B)を調査し, 葉面積の近似値を $\pi LB/4$ で表す	
3	葉身の形	15葉	測定	* (小数第1位を四捨五入)										葉幅長(B)に対する葉身長(L)の比(L/B)×100で表す	
4	成葉の毛茸	15葉	観察	無			少		中		多			調査葉は1次必須の2と同じ	
5	花の大きさ	10花	測定	mm (小数第1位を四捨五入)										正常な花10花について, 開いた時の最大直径から判定	
6	花の色	10花	観察		白	淡桃色								正常な花卉の色	
7	果実の大きさ	10果	測定	g (小数第1位を四捨五入)										成熟した10個の健全果の平均果重	
8	果実の形	10果	観察											果実の縦径の長短と側面の状態とで表示.成熟した健全果 1 0極短, 3 0短, 5 0中, 7 0長, 9 0極長, 1 中央に向って凹 , 2 果頂部に向って凹, 3 中央に向って直, 4 果頂部に向って直 , 5 中央に向って凸, 6 果頂部に向って凸	
9	がく片の大きさ	10果	測定	mm (小数第1位を四捨五入)										落花2週間後のがく片の長さを測定	
10	果実の毛茸	10果	観察				少		中		多			成熟した健全果の毛茸の多少	

作物の種類		マルメロ		485		1次選択項目							
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	
1	梗あ部の大きさ	10果	観察	無			小		中		大		正常な10果について梗あの大きさを観察

作物の種類		マルメロ		485		2次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	発芽期	2樹	測定	年月日									頂芽の先が割れ芽先の青味の現れたものが1樹で3個以上見られた時		
2	満開期	2樹	測定	年月日									頂花芽の70~80%が開花した日		
3	成熟期（収穫期）	2樹	測定	年月日									地色が黄色で芳香を強く感じ、果梗の離脱が容易な果実の最も多く収穫できる日（品種本来の味を示す果実が最も多く収穫される日）		
4	果実の色	10果	観察		黄緑	淡黄	黄	濃黄					成熟期に達した果実の果皮表面の素地の色、観察による		
5	果面の凹凸性	10果	観察				小		中		大		果面の凹凸の状態を観察によって評価する		
6	果肉の色	5果	観察		白	緑白	黄白	黄					切った直後の果肉の色、観察による		
7	ふらん病抵抗性	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性		枝、幹に発生するふらん病、観察による		
8	黒星病抵抗性	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性		葉、果実に発生する黒星病の多少、観察による		
9	輪紋病抵抗性	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性		果実に発生する輪紋病の多少、30果を調査しその被害率より判定		
10	シンクイムシ抵抗性	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性		果実を食害するシンクイムシの被害の多少、30果を調査しその被害率より判定		
11	カイガラムシ抵抗性	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性		樹木に害が生ずるカイガラムシの多少とその被害を総合的に判定		
12	寒害	2樹	観察	無			少		中		多		枝、幹、芽等に現れる寒害の多少から総合的に判定		
13	霜害	2樹	観察	無			少		中		多		霜による落果の被害、芽の被害等から総合的に判定		

作物の種類		マルメロ		485		2次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	樹の大きさ	2樹	観察				小		中		大			樹高と樹幅から総合的に判定する	
2	樹姿	2樹	観察				直立		中間		開張		下垂	樹全体の横から見た形状，総樹高，総開張の比率の大小と枝の伸長，方向習性などの観察による	
3	樹勢	2樹	観察				弱		中		強			環境の影響を受け易いので，遺伝的と判定される明白なものを記入，新梢伸長の強弱．観察によって新梢の長さ，太さなどから樹勢の強弱を判定	
4	吸枝の発生	2樹	観察				少		中		多			主幹周辺の根から発生する吸枝（サッカー）の発生の多少	
5	早期結実性（結実開始期）	2樹	測定	年（小数第2位を四捨五入）									結実開始樹齢		
6	自家結実性	10花	その他				低		中		高			未開花の花蕾に袋をかけて結実の多少を評価する	
7	生理落果の多少	2樹	観察	無			少		中		多			早期落果（6月中）の多少を観察により評価する	

作物の種類		マルメロ		485	3次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	果肉硬度	10果	測定	lb (小数第2位を四捨五入)										成熟期に達した健全果の硬度 (10果平均)
2	果汁の糖度	10果	測定	% (小数第2位を四捨五入)										成熟期に達した健全果10果の搾汁液の屈折糖度計示度
3	果汁の酸度	10果	測定	pH (小数第2位を四捨五入)										糖度測定に用いた10果の搾汁液の滴定
4	香気	5果	官能検査				少		中		多			成熟期に達した健全果の香りの多少
5	果肉褐変の難易	5果	観察				易		中		難			成熟期に達した健全果を切った後の果肉の褐変の難易
6	収量	2樹	測定	kg/樹 (小数第2位を四捨五入)										1樹当たり収量